



14.21
396

農事彙纂
第九卷
鳥取縣農事督勵成績

鳥取県内務部

始



142
396

農事彙纂
第九
鳥取縣農事督勵成績

鳥取縣內務部

1421-396

農事彙纂 第九

鳥取縣農事督勵成績

目次

第一章 普通農事に關する農業技術員協議會	七、酒造米共同販賣
第一節 大正七年度協議會	一、大正七年度
第二節 大正八年度協議會	二、大正八年度
第二章 大正七年度精農家懇談會	第三章 麥作
第三章 大正八年度農事改良組合長懇談會	一、麥作付反別及收穫高
第四章 農事督勵成績	二、麥品種作付反別
第一節 稻作	三、採種圃
一、米作付反別及收穫高	第四章 肥料
二、稻品種作付反別	一、肥料消費高
三、採種圃	二、堆肥舍
四、共同苗代及改良集合苗代	三、共同購買
五、正條植	第五章 其他
六、稻架	一、講習講話
	二、品評會
	三、農事改良組合

大正
9. 11. 17
内交

鳥取縣農事督勵成績

第一章 普通農事に關する農業技術員協議會

第一節 大正七年度協議會

大正七年四月二日より三日間縣廳儀式場に於て開會、出席技術員は縣廳、穀物検査所、農事試験場、縣農會、郡市農會技術員にして、初日午前九時亥角内務部長開會を宣し、佐竹知事の訓示あり、引續き會議に移り、四日農商務省伊藤農産課長の講演を了へ、亥角内務部長の開會の挨拶にて散會せり、知事の訓示並に協議決定したる事項次の如し。

訓示

今回普通農事に關する農業技術員協議會を開催するに當り、一言所見を披瀝する所あらんとす。熟現時の經濟界を通觀するに、時勢の進運と時局の影響とは空前の發展を促し、與國の機運隆々たるを見るは邦家の爲め慶賀措く能はざる所なり、之を我が農業に見るも、本縣主要の米麥作は年次其の産額と品位とを増進し、一面農産物價格の昇騰及副業の増收に伴ひ、農家の經濟漸次好調を來し農村繁榮の曙光を見んとす、然りと雖も雖も農村の實情を查察するに、年と共に生活程度向上し、或は農業勞力の減少を來し、或は資本の増加を要するに至る、是れ輕々看過すべからざる問題なりとす。抑も歐州戰亂の結果は國民の思想と經濟界とに多大の刺激を與へ、食糧自給問題に、或は工業原料供給問題に其他産業上に關し囂々たる世論を惹起しつゝあり、然るに近時商工業の勃興を來すや農業勞力の吸收益甚しく補給上甚大の影響を見んとす、固より商工業方面に對する農業者の移動は、現下一般的風潮にして人爲を以て

能く之を支ふべきに非ずと雖、一面之に隨伴する不利を除却すると同時に、農業労働の能率を高め、改良農具の使用を勵行し、以て農村繁榮の道を講じ、本問題解決の一助たらしめざるべからず。

本縣畜産業は比年大に改良増殖の趨勢を來したりと雖も、往年風水害の災あり、農家經濟に困難を來すや、牛馬を放賣せるもの尠からず、而して其創痕未だ癒へざる秋に方り、歐州戰亂勃發し、皮肉の需用頗に激増するに伴ひ、價格の暴騰を來し、牛馬を縣外に販出するもの多く、其の頭數逐年減少の傾向あり、願ふよ牛馬頭數の減少は其生産數を減少するのみならず、厩肥の缺乏を來し、農耕等に阻碍を及ぼし、洵に憂慮すべき現象たらざるを得ず、殊に現下農業勞力に缺乏を來さんとするに於てをや、依て今日の急務は牛馬濫賣の防止、購入資金の融通、低廉なる飼料の供給、牝牛飼養及週年種付等の方法を講じ、以て其減少を防止するを必要と認む、畜産に關する事務は諸子の主管事項に非ずと雖も、此等の現象に對しても常に深甚の注意を拂ひ、農家指導上當局の施設方針の徹底に助力せんことを望む。

近時物價の騰貴と共に農業資本の増加を來し、殊に肥料價格は暴騰し、加之自給肥料の給原たる紫雲英は本年度作付反別を減したるのみならず、生育不良にして、著しく産額の減殺を見んとす、此際益々自給肥料の改良増産に努め、以て肥料經濟の安全を圖らざるべからず。

耕地整理の事業は又逐年進歩の域に達したりと雖も、既耕地の整理すへき餘地あるの外、未開墾地及水面に對し耕地の擴張すへきもの猶二萬參千餘町歩を有す、本事業の前途遠慮なりと云ふべく、土地利用の増進上等閑に付すべからざる所なり、本事業の普及獎勵に付ては別に主管の吏員ありと雖も、諸子は農家に接觸する機會多きにより、常に其必要と有望なる點を舉示し、本事業の施設經營に助力せんことを望む。

本縣に於ては曩に米券倉庫の設立を促し、産米の改良と金融の便とを得せしめしが、農業倉庫業法の發布と共に、既設の米券倉庫は概ね其組織を變更して農業倉庫たらしめ、猶新に農業倉庫を設立せんとするもの亦漸次多からんとす、農業倉庫は全く公益的施設に係り、主として中小農を保護し、以て農村の振興を圖るにあり、然るに本縣に於ては之れか利用未だ中小農に普及せざる憾みあり、諸子は能く本施設の趣旨を了し之が利用方法を講じ、以て農業の時弊を匡救するに努力せざるべからず、産業組合の事業は農業倉庫と深密の關係あるのみならず、農村振興上緊要の機關たり、諸子之か普及改善に付ても相當留意せんことを望む。

副業の振興に關しては從來屢々指示する處あり、諸子亦之か指導に努められたる結果、漸次其の効果を收めつゝありと雖も、尙未だ充分なりと云ふ能はざるのみならず、冬季の副業としては殆んど見るに足るべきものなし、今回政府に於ては新に農商務省に副業課を設け、以て副業の發達を企圖せらるゝ處あり、縣に於ても本年度以後一層之か獎勵に努めんとす、諸子は之に關し益々調査研究を重ね、銳意指導斡旋の勞を執らんことを望む。

近時經濟界の好調に伴ひ、農産物市價及勞銀上騰するや、往々にして驕奢安逸の弊を増長せんとする傾向なきに非ず、凡る物價の騰落は大海の波浪の如く、一高一低常なきは經濟界自然の勢なり、今日の好調は懸て他日の前提たるなきを保し難し、若し一時の好調に眩惑し、將來の計を忽にするか如きあらんか、農村の前途轉た寒心に堪へざるなり、勤儉貯蓄の要持に現下の農業界に於て一層其の切要なるを認む。

凡る勸業事務中普通農事及副業に關する施設獎勵に付ては、耕地整理、畜産、林業並に自治民育に關する施設と至大の關係を有す、宜しく此等諸機關と相互連絡を保持し、一定の方針に基き農家をして歸向せしむる處を知らしめざるべからず、諸子深く此點に留意し、農家指導上支障扞格なきを期し、以て一層有効適確なる成績を挙げ、其責務遂行に資せらるへし、要するに農事の改良を圖り、農村の繁榮を致さんとせば、技術の改良と共に經濟の按排宜しきを得せしめんことを要す、冀くは時勢の趨向に鑑み、從來指示せる處に基き、今後一段の努力あらんことを。

協 議 決 定 事 項

一、本年度稻作肥料補給に關する件

一、排水佳良なる休閒地は之を耕起して紫雲英又は青刈大豆を播種せしむること

二、紫雲英の發育不良なる場合には特別の肥培をなし保護を加ふること

- 三、青刈大豆の播種量は反當一斗位紫雲英は三升位となさしむること
 - 四、播種は四月中旬頃迄に終らしむること
 - 五、青刈大豆の肥料は一反歩に對し過燐酸石灰五六貫木灰十貫を標準たらしむること
 - 六、野草の採收に努め堆肥を製造せしむること
 - 七、藁稈を堆積し速成堆肥を製造せしむること
 - 八、溝泥を堆積使用せしむること
 - 九、焼土及草木灰を製造せしむること
 - 一〇、肥價暴騰の結果往々不正粗悪肥料を發見するを以て購入の際は特に注意せしむること
 - 一一、共同購入及共同配合を奨励すること
 - 一二、本年度害虫驅除豫防に關する件
- 稻田害虫の驅除は大体従來の順序方法を繼承し勵行すへしと雖も之に加ふるに本年度並に本年度以後特に施設すべき事項を左の通りとす

螟蛾驅除適期調査

- 一、螟蛾驅除の適期を知らんかため豫察燈を設備すること
- 二、豫察燈は郡市農會所在地、技術員駐在制を執れる郡に於ては駐在地又は郡にありては樞要の地區三ヶ所以上之を置き技術員直接之を管理するか又は町村農會職員、農事改良組合長若は適當と認むる當業者に委嘱管理せしむること
- 三、點火時期は概ね五月二十五日より七月五日までとし時間は毎日黄昏の頃より午後十時頃迄とすること
- 四、豫察燈設備其の他の費用は郡市町村農會又は農事改良組合の負擔とすること
- 五、毎朝捕蛾數を調査し前夜の天氣と共に記帳し捕蛾一覽表を作ること
- 六、捕蛾數漸次多く發蛾最盛期に入らんとする兆あらは技術員は當該害虫驅除豫防委員部長の指揮を受け最寄寄

虫驅除豫防委員と協議し驅除日を定先勵行方に關し町村及害虫驅除豫防委員に通知すると共に害虫驅除豫防委員長に委員の擔當地區、驅除日及驅除の方法を報告する手續をかし機を逸せざる様注意すること

稻 椿 象 驅 除

- 一、從來驅除の適期を逸する觀あり産卵前極力驅除し從事せしむること
 - 二、日没より早朝迄の間捕虫網又は赤手を以て捕殺せしむること
 - 三、幼虫なるときは除蟲菊浸出石油を滴下し驅除せしむること
 - 四、可成早稻栽培地を集合し驅除上の便利を得せしむること
 - 五、特に共同驅除をなさしむること
 - 六、粟めひじは其他禾本科植物の穂にも集るものなるを以て此等植物にも注意せしむること
- 三、酒造米生産販賣奨励に關する件
- 一、生産地は排水良好良米ノ産地を選定すること
 - 二、生産者には農事改良組合を指定すること
 - 三、生産額は一貨車(八噸貨車百二十八俵)以上たらしむること
 - 四、稻の品種は強力となすこと
 - 五、乾燥調製俵裝等米製を善良から去り三等米以上の品位たらしむること
 - 六、生産米は共同販賣をかさしむること
 - 七、栽培米製販路等に對し斡旋指導の勞を執ること
 - 八、生産地を左の通りとすること

岩	美	郡	一	ヶ	所
八	頭	郡	一	ヶ	所
氣	高	郡	一	ヶ	所

東 伯 郡 二ヶ所
西 伯 郡 一ヶ所

四、副業奨励に關する件

- 一、副業選擇資料として左記各項の調査を町村別に行ふこと
 - イ、現今生産せらるる副業品の種類數量價格販路
 - ロ、副業品の原料たるべきもの並其の産額の多少
 - ハ、餘剩勞力(剩餘ありとせば何れの時期に於て男或は女に於て如何なる状態にあるかを調査すること)
- 二、副業の選擇に就きては左記各項に注意すること
 - イ、副業の種類に付ては各地同一ならしむることは困難なるべく宜しく各部落の事情に鑑み適當なるものを選択すべきも同一種類の生産物を可成多數取纏むることは販路擴張上緊要あるを以て相當考慮の上種類を選択せしむること
 - ロ、本業に支障を及ぼさず且餘裕ある勞力を利用するに適當なること
 - ハ、作業容易にして成るべく老幼婦女子にても行ひ得ること
 - ニ、資本は多く要せず且回收の速なること
 - ホ、原料容易に得られ且豊富なること
 - ヘ、販路廣く且繼續の望あること
 - ト、將來機械工業たるべき素質を有するものに付ては可成之を避くべきこと
- 三、地方に於ける有力者若は其の子弟をして副業奨励の衝に當らしむること
- 四、副業品の奨励を爲すに際しては關係官公署、實業団体等と聯絡を圖ること
- 五、副業品の生産又は加工は可成生産組合、畜産組合、漁業組合、其他の共同的組織に依らしむること
- 六、副業品の生産及原料の購入に要する資金は信用組合を利用して其の供給を圖らしむること

- 七、副業品の原料は購買組合、漁業組合等を利用して其の購入を圖らしめ又は農會其他に於て共同購入の斡旋を爲さしむること
 - 八、副業品に付ては販賣組合、漁業組合等をして販賣に當らしめ又は農會、山林會、同業組合等をして共同販賣の斡旋をなさしむること
 - 九、副業品評會を開催すること
 - 一〇、縣農會に於て副業の種類原料の供給及生産物の販路等を調査し適宜管内に周知せしめられたきこと
- 五、米麥奨励品種改廢に關する件
意見交換の後各郡市の希望を練合せば次の如し

岩 鳥	八 岩 鳥	氣 東	東 伯	西 伯	日 野	岩 鳥
取 美	頭 美	高 十	伯 旭	伯 早	野 中	取 美
加フベキモノ	加フベキモノ	福 吉	福 吉、皇 國、茶 早 生	皇 國、福 吉	福 吉、皇 國、青 木	加フベキモノ
廢スベキモノ	廢スベキモノ	皇 國、龜 治	福 吉	福 吉	福 吉	廢スベキモノ
關 取						關 取
寒小麥、島田小麥						寒小麥、島田小麥

八 氣 東 西 日

頭 高 伯 野

早熟裸麥ノ一種	關	取、長	種
大麥獨逸春蒔ノ熟期	ニ		
類スルモノ一部			

關 取、長 種

第二節 大正八年度協議會

本年度協議會は大正八年九月九日同十日の両日縣廳儀式場に於て開會す、參會者並に會議の次第は前年に略同しく、當日阿部知事の訓示並に協議決定事項次の如し。

訓 示

本日農業技術員協議會開催に當り一言訓示する所あらんとす。想ふに歐洲戰亂の影響は社會各方面の事象に一轉機を見んとし、殊に經濟上の變動は最も激甚にして、就中其著しきものは食糧問題なりとす、而して食糧の改良増殖に關しては從來屢指示せる所あり、諸君亦之が指導獎勵に努力したる結果、食糧作物の栽培は漸次改良進歩の跡歴然たるものあり、然りと雖も米の改良増殖の方法に至りては尙幾多の施設を要するのみならず麥の栽培に就いても亦改良増殖の餘地多く、其他農作物種類の分配、品種の改良、耕種方法の改善等皆是れ當面の急務ならずんばならず、況んや近時紫雲英、苜蓿等肥料作物の栽培は漸次増加しつつあるに反し麥の栽培は寧ろ減退せんとする憾みなき能はざるに於てをや、若しこれ耕地整理の事業進捗し、農業經營並に耕種方法の改良をなすあらんか當に收量の増加を見るのみならず耕地を擴張し、土地の利用を完うし、食糧品の増收著大なるものあるや明かなり、諸君は益々奮勵して之が施設を怠らず指導獎勵に努め以て事業の振興を圖られんことを望む。

最近農商務省の調査に依れば本縣内開墾可能耕地面積は二萬一千三百八十八町歩にして内田となす得べきもの八千七百八十六町歩畑となし得べきもの一萬二千五百三十二町歩を占め開墾事業の前途は實に有望なるものあり元來此の事業は資本及勞力と密接の關係を有し今直に着手し難き事情なきに非ざれ其開墾助成法並に耕地整理法に基づき之が運用と企業宜らしきを得んか漸次耕地を擴張し土地利用の途を増進し得べきを以て之が實施に關しては一層努力せられんことを望む。

近時食糧問題の囂々たるや政府は外米の輸入米穀の配給等需給の圓滑を圖ると共に混食代用食を獎勵し本官亦曩に混食代用食其他節米の勵行を促したり想ふに我國民は米食を以て主となすが故に今後人口増加と生活程度の向上と食糧以外の用途の増進とに伴ひ米の需要益々多きを致し遂に供給上多大の缺陥を生ずるに至れるは免るべからざるの事實なり熟ら本縣管内の状況を見るに混食代用食の原料は其の種類に乏しかず而して此等は其の地方の風土により一律なる能はずと雖も之が耕作を擴張すべき餘地尙多し例へば馬鈴薯を稻田裏作となし甘藷を砂濱地に栽るが如き是れなり此等作物の改良増殖は實に刻下の急務と認むるが故に今後一層指導獎勵を要す。

凡そ農業の經營は生産要素を適宜に按排利用し農業の利潤を多からしむるを以て要旨となす而して農業の施設は獨り食糧作物のみ専らなる能はずと雖も改良増殖は最も緊要なるを以て其本位を之に置き地方の状況に鑑み農業の組織を整へ經營の完璧を期せざるべからず是今回本縣が新に食糧に關する技術員を置き特に該作物の改良増殖を企圖せんとする所以也今や世界各國は銳意戰後の創痕を醫し時代の趨向に順應し生活の安定國富の上進に汲々たり諸君は深く思ひを致し是れが指導獎勵上遺漏をからん事を期せざるべし。

協議決定事項

一、裏作改良増殖に關する件

(一) 本年度裏作擴張反別

鳥取 八頭 氣高 東伯 西伯 日野

計	野	伯	伯	高	頭	美	取
一、八七、一	五〇、〇	二六七、三	三七八、七	四一八、四	三〇〇、〇	三八〇、〇	四九、九
二〇、四四、九	八七六、一	四、四三三、二	六、七六、九	三、四八三、一	三、〇六五、八	一、七六三、二	二、七六五、八
40.1	33.0	17.0	54.4	43.0	53.0	20.0	10.0
一八六、七	二八九、一	七五三、六	六六五、〇	六七、〇	一、六二四、八	三五六、六	七、三
14.8	14.0	15.0	5.2	18.0	20.0	35.0	35.0
2.6	4.0	6.0	1.7	2.0	1.0	1.0	1.0
五五、三	三五、〇	二六六、〇	一一五、五	六九、七	三〇、六	一七、八	七、七
32.5	46.0	46.0	30.3	26.0	17.0	4.0	40.0
1.5	四〇三、〇	二、〇三九、三	二、〇五〇、〇	九〇五、六	五三、〇	七二五、三	二九、〇
三〇、一、二	1	一三三、〇	四〇〇、〇	一七、四	三、〇	一七、八	七、七
8.5	3.0	13.0	7.8	10.5	6.0	3.0	13.0
一、七三五、九	二六、三	五七六、三	五二〇、八	三五五、七	一八三、九	五三、五	九、四

大正七年度勞力天候關係
 〓ヨリ裏作セサリト内
 簡易ナル土地改良ニヨリ
 裏作可能反別ノ内
 計

備考 大正七年度裏作總反別一萬八千六百二十三町八反歩に對し約一割を擴張する見込

(一) 秋期天候良好なれば裏作に然らざれば春期馬鈴著作に全力を注ぐこと
 (二) 本年度裏作擴張に關する施設方法
 (三) 稻架普及せざる地方にありては稻架設備の方法を講ずること
 (四) 農具の使用畜力の利用を盛ならしむること
 (五) 簡易排水法促成の途を講ずること

(三) 本年度裏作各種分配歩合

現在裏作 總反別	本年度 擴張反別	計	大麥	裸麥	小麥	綠肥	馬鈴著作	其他
一、七九二、〇	五〇、〇	一、八四二、〇						

計	日野	西伯	東伯	氣高	八頭	岩美	鳥取
一八六、三、八	八天、一	四、一六五、九	六、三四八、二	三、〇六四、七	二、七六五、八	一、七〇三、一	四九、九
一、八七、一	五〇、〇	二六七、三	三七八、七	四一八、四	三〇〇、〇	三八〇、〇	二二、七
二〇、四四、九	八七六、一	四、四三三、二	六、七六、九	三、四八三、一	三、〇六五、八	一、七六三、二	二、七六五、八
40.1	33.0	17.0	54.4	43.0	53.0	20.0	10.0
一八六、七	二八九、一	七五三、六	六六五、〇	六七、〇	一、六二四、八	三五六、六	七、三
14.8	14.0	15.0	5.2	18.0	20.0	35.0	35.0
2.6	4.0	6.0	1.7	2.0	1.0	1.0	1.0
五五、三	三五、〇	二六六、〇	一一五、五	六九、七	三〇、六	一七、八	七、七
32.5	46.0	46.0	30.3	26.0	17.0	4.0	40.0
1.5	四〇三、〇	二、〇三九、三	二、〇五〇、〇	九〇五、六	五三、〇	七二五、三	二九、〇
三〇、一、二	1	一三三、〇	四〇〇、〇	一七、四	三、〇	一七、八	七、七
8.5	3.0	13.0	7.8	10.5	6.0	3.0	13.0
一、七三五、九	二六、三	五七六、三	五二〇、八	三五五、七	一八三、九	五三、五	九、四

備考 羅馬數字は合計反別に對する%を示す

(四) 裏作改良耕種要項

一、縣獎勵品種を主とし統一すること

- 二、採種圃を設置し鹽水選種を行ふこと
- 三、冷水温湯浸法に依り病害を豫防すること
- 四、播種期を逸せざるやう注意すること
- 五、播種量は一反歩大麥は四升裸麥小麥は三升を標準とすること
- 六、整地法を改良し二條蒔となし蒔幅を廣くすること
- 七、厩肥堆肥を基肥とし各種肥料を合理的に一層多用すること
- 八、溝土を浚へて土入を行ひ傍ら耕土を増すに便せらるゝこと
- 九、中耕除草を懇到ならしむること
- 一〇、早年枯熟の虞あるときは可成淺く灌水すること
- 一一、乾燥調製を良好ならしむること

紫雲英

- 一、平坦部には晩生種山間部には中生種を用ふること
- 二、採種圃を設け優良種子自給の方法を立つること
- 三、鹽水選を行ひ菌核病を豫防すること
- 四、田地の排水を良好ならしめ可成輪作すること
- 五、稻の早中晩種に應じ播種期を定むること
- 六、播種量は一反歩三升を標準とすること
- 七、磷酸加里石灰等土性に應じ合理的に多用すること
- 八、冬期排水防寒等時期を逸せざるやう注意すること
- 九、春期乾燥其の度を超ゆるときは時々灌水すること
- 一〇、花満開の時を見て收穫すること

馬鈴薯

- 一、早生種を選択すること
- 二、採種圃を設け優良種子自給の方法を立つること
- 三、三月中下旬の頃下種し季節を逸せざるやう注意すること
- 四、種薯は一箇十匁位一反歩用量四十貫匁を標準とすること
- 五、整地の方法は麥作に準ずること
- 六、速効肥料を合理的に施用すること
- 七、發芽後直ちに除蘗一本立となし尙ほ摘花すること
- 八、中耕除草を懇到にし稍深く堆培すること
- 九、病蟲害の驅除豫防に注意すること
- 一〇、貯藏を完全ならしむること

五、本年度裏作改良擴張による收量見込

郡市別	大麥	裸麥	小麥	綠肥	馬鈴薯	其他
鳥取	二、二〇	一、八〇	一、七〇	七〇〇	四〇〇	—
岩美	一、五〇	一、五〇	一、三〇	七〇〇	四〇〇	—
八頭	一、六〇	一、六〇	一、一〇	七〇〇	三六〇	—
氣高	一、六〇	一、六〇	一、一〇	七五〇	四〇〇	—
東伯	一、六〇	一、六〇	一、二〇	七五〇	四〇〇	—
西伯	一、六〇	一、八〇	一、一〇	七五〇	四〇〇	—
日野	一、六〇	一、七〇	一、一〇	五〇〇	三〇〇	—

- 二、酒造米生産販賣に關する件
- 一、生産地を八頭、氣高、東伯、西伯の四郡とすること
- 二、強力種に一定すること
- 三、製米を二等品位以上たらしむること
- 四、價格は汽車乗値段を標準とし之に要する雜費を控除し一俵一圓増しとすること
- 五、縣及當該郡の技術員斡旋すること
 - 三、稻作増收品評會開催に關する件
- 一、農事改良組合を一出品人となすこと
- 二、出品の資格を左の通りとすること
 - イ、農事改良組合なること
 - ロ、獎勵品種五割以上を栽植すること但し主催者に於て適當と認むる品種は此割合内に算入することを得
 - ハ、組合員全部正條植をなすこと
 - ニ、組合員の全耕作田を出品すること
- 三、副賞として左記の通り授與すること
 - 一、等賞 金百圓 二点
 - 二、等賞 金五十圓 六點
 - 三、等賞 金貳拾圓 十五點
- 四、審査の方法は左の通りとすること
 - イ、豫備審査 第一次市町村農會第二次郡農會選拔出品の二割を本審査に附す但し審査方法は郡市町村農會の任意とすること
 - ロ、本審査最高反別を占むる三品種に就き各品種とも出品人の指定する田區一と審査員の認定したる田區二との割合に依り粒數計算法に依り審査す但し一若くは二品種にして最高反別を占むるときは前の率により九ヶ所を審査すること

第二章 大正七年度精農家懇談會

大正八年三月二十一日鳥取市仁風閣に於て縣下精農家懇談會を開く、參會者鳥取四、岩美一〇、八頭一四、氣高一五、東伯二〇、西伯二一、日野一〇、計九拾四名にして、佐竹知事、亥角内務部長、松井農商課長を始め、縣郡及各種團體技術員三十餘名參列、亥角内務部長開會の辭、佐竹知事の訓示あり、附議事項を協議し、精農家十名の實驗談、内藤農事試驗場長の講演を終へ閉會せり。此間優良農事改良組合中郷、福守、吉長、山ヶ鼻各組合の表彰式あり(別冊^{農事覽察}七優良農事改良組合事蹟參照)尙散會に際し記念撮影をなし精農家一同に對し神戸市村田平左衛門寄贈馬鈴薯種子一籠、農事試驗場寄贈大正七年度式稻種子、大正五年度業務工程を贈り、尙は優良農事改良組合事蹟、府縣農會聯合販賣所事業案内外數冊子を配付せり、當日知事の訓示及決議事項は次の如くなりし。

訓示

時將に農繁期に向はんとし久しきに亘り塞閉せられたる歐洲戰雲亦漸く霽れ平和の曙光を見んとするに方り縣下精農家諸君の會同を得諸君の實驗談を聽き併せて所見を披瀝する好機を得たるは本官の深く欣幸とする所なり抑本縣農家の本業は主として米麥作にして園藝養蠶畜産等は其の副業たり此等本業と副業との改良發達を圖るは農業の利益を先進し併せて本縣の福利を増進する所以にして特に大戰以來高調せる食糧問題解決上一層其の切要なるを感せずんばならず翻て本邦食糧需給の關係を見るに主要食糧たる米麥の生産は未だ以て國民の需

求を充すに足らず平年に於ける輸入超過高は約米百六十八萬石麥百萬石にして之を將來に積ふれば近く十年の後に見るも其の不足額は米一千五十萬石麥四百八十萬石なるべきを推算せらる本縣昨年之水災は未曾有の慘害を極め延いて米麥作の損害額巨萬に達せしと雖も大正六年度米作反當收量は全國中の第三位に位乎平年に於ける米穀の産額は六十六萬石に達し縣民自給の外約十八萬石の過剩を生じ移出餘力の少からざることは稍意を強くするに足れり然りと雖も之を現在に鑑み將來を推せば尙増産の餘地綽々たるものあるを認む而して増産の途たるや或は耕地の擴張及改良に或は耕種の改善に其の方法一にして足らずと雖も單に耕種の改善のみを以てするに現收の二三割を増加する敢て難事なざるを信ず之を既設農事改良組合の實績に見るも證據歴然たり

更に本縣裏作の状況を見れば裏作反別僅かに六割を占むるに過ぎず普及未だ完からざるは大に遺憾とする所あり殊に昨年に於ける天災は一層之が普及の障礙を甚だしからしむ抑這般裏作障礙の主因は耕地の澇水氣候の不良等に在るべしと雖も簡易なる排水工事を起し農業經營法に改良を加ふるあらんか之を七八割に進むること又難事ならざるを信す宜しく耕種の改善と共に之れが障礙排除に努むべきなり食糧農産物は米麥の外補助食糧として甘藷馬鈴薯其他雜穀の増産を圖るを要す此等作物耕種の方法は最も簡易にして而かも利用し得べき土地尠からず殊に馬鈴薯は目下下種の好期にして水災荒廢地利用策としては好個の作物たるを疑はざるは一層之れが改良増産に努力せんことを

本縣に於ける農家の組織經營を見るに山野に富み各種副業の按排宜しきを得たるものありと雖も適當なる副業に乏しく勞力の分配適良ならざる地方尠からず此等地方に在りては今後一層本業の改良發達を圖ると共に適切なる種類を選択し之れが振興を企圖せざるべからず曩に歐洲戰亂の餘波は我國經濟界を活躍せしめ延いて農業界亦好況を呈せしが休戰條約成立以來好景氣を反轉して不景氣の聲漸く高からんとす凡そ經濟界の順逆は常に循環するものにして一時の現象は敢て怖るゝに足らずと雖も今や各國相競ふて戰時の創痕を醫し國力の増進を孜孜たる時に方り國民たるもの深く時運の趨向に鑑み和衷共同勤儉産を治め國力の増進發達を圖らざるべからず諸君は日常農事に精勵し斯業の改良發達に寄與せ

らるゝ處大ありと雖も農事の改良發達は協同の力に俟つもの多し殊に農業經營の小なる本邦の農家に於て其の然るを見る曩に縣が農事改良組合の設立及振興を促せし所以のもの全く此趣旨に外ならず曩は諸君克く此意を體し益精勵農事に努め進んで地方農家を啓發善導し農事改良組合の設立振興に助力し農事の改良食糧の増産を圖り以て時運の要求に副はんことを

決議事項

農事の改良發達を圖るの途一にして足らずと雖も左記各項は其の最も急要なるを認む殊に現下食糧問題の甚々たる時に際し一は本問解決の捷徑たるべきを信す

一、米麥獎勵品種の普及に努むること

本縣米麥の品種は今尙雜駁たるを免れず曩に縣は稻に在りては福山、芋笠、福吉、皇國、茶早生、青木、丸山、龜治、奥州、強力、早大關の十一種麥に在りてはコピンカタギ、小鯖、外江、大澤(以上裸麥)關取、瑞穂、長穂(以上大麥)江島、フルツ、チャボ、寒小麥、畠田(以上小麥)の十二種を獎勵品種に定め縣農事試験場に於ては之れが改良繁殖を圖り種子を配布しつゝあり優良なる品種を選定し其の普及を圖るは生産増加の方策として効果最も多く且つ實行し易き方法なるを以て今後一層下級採種圃の増設完成に力め以て優良品種の普及を迅速ならしむるを要す

二、共同苗代又は改良集合苗代を普及すること

苗養成上共同作業に依る共同苗代又は共同苗代に準する改良集合苗代を設置するは良苗の育成勞費の節減等集團者一同の利益を増進する効多し今や時勢の進運は當業者を自覺せしめ曩に苗代設置規程の廢止を見るに至りしと雖も今尙は等閑に付すべからざるを信す之れが設置に付ては多少の障害あるべしと雖も萬難を排し共同の利益を増進するに銳意努力すべきなり

三、稻の正餘植及小株密植を普及すること

正條植及小株密植の有利なるは既に認識せられたりと雖も普及未だ全からざるを遺憾とす前項苗の改良と相待ちて一層普及の要あるを認む

四、稻架乾燥の完全を期すること

稻架乾燥は米質を向上し藁の品質を良くし農業勞力の分配を適當ならしむるは勿論副業の改良裏作の増殖等に關係する所亦尠からず然るに本縣内稻架の設備尙未だ十分ならざる地方あり此等地方に於ては速に稻架設備の方法を講すべく既成の地方に於ても乾燥日數乾燥方法等今一段の注意を拂ふの要あり

五、耕地の深耕及排水に努むること

耕地の深耕及排水は増收栽培の一要素なり本縣耕土は一般に淺く排水不良の地尙は多し此等の地方に在りては努めて之れが速成の方法を講じ以て生産の増殖を要す

六、改良農具の使用を普及すること

改良農具の使用は勞働の能率を高め生産費を節約すること大かり殊に今日の如く勞働賃金高騰の際に於ては一層其の緊切なるを感せずんばあらざ改良農具の數多からずと雖も耕具收穫器等には稍進歩したるものあり普く使用の道を講すべきなり

七、肥料の改良を圖ること

肥料は農業資本の要部を占むるものなれば之れが利用節約を圖るは農家經濟上最も肝要なることとす然るに本縣農家の肥料に對する注意は尙未だ遺憾の點頗る多し近時時局の關係に依り肥料の價格は著しく騰貴したるを以て此際堆肥綠肥の改良増産に力め尙は一般肥料の合理的配合を行ひ購入すべき肥料の選擇に注意し且つ購入方法に改良を加ふるが如きは現下の農業に最も適切なるを認む

八、病蟲害の驅除豫防を勵行すること

病蟲害の損害は年々多大にして殊に改良事項の進捗と共に一層被害激甚ならんとする感なき能はず然るに一般農家の病蟲害に對する感念は舊に依り尙は冷淡なる議を免れず今後一層驅除豫防に力むるを要す

九、裏作の改良及擴張を圖ること

裏作は稻作に比し改良の餘地多きにも拘はらず其技術最も拙劣にして進歩の遅々たるは洵に慨すべきなり加之本縣裏作の普及未だ十分ならず近時寧ろ一層の減少を來さんとする傾向なき能はず是れ氣候の關係其の二因たるべしと雖も土地の改良農業經營法の變更に依り尙一段の擴張をなし得べきを信ず殊に麥は米に亞き最も重要な食糧なるを以て今後一層之れが改良増産を促し米の販賣數量を多くし農家經濟の發展に資せしむると共に一般に對し潤澤なる食糧の供給を得せしむるは國民經濟上及食糧調節上極めて緊要なることと屬す

一〇、桑園果樹園等を利用し大麥蔬菜類綠肥作物等の栽培をなすこと

桑園果樹園等落葉期又は剪枝期に當り適良なる作物を栽培するは土地利用上最も緊要なることとす從來桑園間作として青刈大豆苜蓿等の綠肥作物を栽培するものありと雖も尙は九牛の一毛たるに過ぎず今後一層之れが普及を圖ると共に大麥馬鈴薯其の他蔬菜類の栽培を試み以て食糧農産物の供給増加を圖るを要す

一一、甘藷馬鈴薯等補助食物の生産を増加すること

甘藷馬鈴薯の如きは傾斜地又は瘠地にも適し生産の増加比較的容易なるのみならず澱粉に富み滋養價値多く穀類不足し又は其の價格暴騰するとき適當なる代用食物なりとす然るに馬鈴薯の栽培は漸次増加の傾向ありと雖も甘藷に至りては寧ろ減退せるやの感なき能はず今後一層此等の増産に力むべく殊に本年は昨年の水害により放置せる空田多し目下之れが應急利用策としては馬鈴薯を栽植するに若くなし一段の注意を要す

一二、農業倉庫及農産市場を利用すること

農業倉庫は主として穀物及繭を保管し兼ねて此等農産物に對し金融の道を開き販賣の斡旋をなす今や本縣樞要の地農業倉庫の建設殆んど全からんとす農家は進んで之れが利用に力め併せて農産市場を利用し農産物販路の擴張及販賣方法の改善を圖るは農業經濟上最も緊要なることとす

以上實行の方法手段としては各自勇往邁進農事に精勵すると共に農事改良組合の設立振興に助力し以て其の目的を達せんことを期す

右決議す

第三章 大正八年度農事改良組合長懇談會

大正八年九月十一日同十二日兩日縣會議事堂に於て縣下農事改良組合長懇談會を開く、會する者初日二百三十一名、次日二百四十一名、參列者阿部知事、亥角内務部長を始め縣郡關係者三十餘名、初日午前十時優良農事改良組合の表彰式を挙げ、中村、美和、江原、下坂本北部各組合を表彰し(農事彙纂 第八優良農事改良組合事蹟參照)次で組合長懇談會に移る、先づ阿部知事の訓示あり、附議事項を議し、組合長七名の實驗談を終へ、次日香川縣農業技師吉田顯基廣藪麥作法の講演及實地指導を受しめ散會せるが、知事の訓示と決議事項とを記すれば次の如し。

訓示

本日茲に農事改良組合長懇談會を開催し多數組合長其の他の會同を得たるは本官の欣幸とする所なり抑農事經營の目的は土地資本勞力の三要素を利用し最多の利潤を得るにあり情ら本縣農業の状況を見るに此等三要素の利用未だ周到ならざるものあり殊に其經營は概して甚だ小規模にして小作の階級に在るもの八割以上を占め一戸平均耕作反別は漸く八反六畝歩を算するに過ぎずして而も之が利用全かざるものあり是蓋し本縣農業發達上不健全の憾を免れざる所以なり抑々自作農は農村の中堅にして管に農村繁榮自治の振興上一大勢力たるに止らず國家の健全なる基礎を構成するものなるが故に將來小作農家をして可成土地を所有せしむるは自作農の地位を向上せしめ社會改良上將又本縣農業組織の發達上必要の事なりとす而して更に一層耕地の擴張に努むると共に出來得る限り農業の經營を共同にし勞費を節約し能率を増進し以て農事の改良發達を圖らざるべからず是れ本縣が常に農事改良組合の設立を獎勵し之が進興を促せる所以なり今や農事改良組合の設立既に七百に達し其成績概ね上進の氣運に向ひつゝあるは本官の深く喜ぶ所なり然りと雖も共同的の事業は時に放漫に流れ或は經

營日を経るに従ひ往々にして緊張を缺き若くは退嬰に傾くもの又少くあしとせむ組合員たるもの堅忍持久常に公共的精神と進取的態度とを以て之に當るを要す殊に組合の消長は組合の首腦たる組合長に負ふ所最も大なり刻下食糧問題其他戰後經營施設を要するもの甚だ多し希くは諸君深く時勢の趨向に鑑み益々組合の振興に努め以て斯業の發達地方の改良を圖り國運の進展に資せむことを

決議事項

- 一、裏作改良增收に關する件
 - (一) 本年度裏作の擴張を圖るため左記方法手段を執る事
 - (二) 秋期天候良好なれば麥作に然らざれば春期馬鈴薯作に全力を注ぐこと
 - (三) 稻架普及せざる地方にありては稻架設備の方法を講ずること
 - (四) 稻架普及せる地方と雖架干日數を延長し稻の乾燥を十分にすると共に裏作の擴張に努むること
 - (五) 農具の使用畜力の利用を盛ならしむること
 - (六) 簡易排水法促成の途を講ずること
- 二、裏作の改良增收を圖るがため左記耕種要項に準じ栽培すること
 - (一) 縣獎勵品種を主とし統一すること
 - (二) 採種圃を設置し鹽水選種を行ふこと
 - (三) 冷水溫湯浸法に依り病害を豫防すること
 - (四) 播種期を逸せざるやう注意すること
 - (五) 播種量は一反歩大麥は四升裸麥小麥は三升を標準とすること
 - (六) 整地法を改良し二條播となし播幅を廣くすること
 - (七) 厩肥堆肥を基肥とし各種肥料を合理的に一層多用すること

- (八) 溝土を浚へて土入を行ひ傍ら耕土を増すに便すること
- (九) 中耕除草を懇到ならしむること
- (一〇) 早年枯熟の虞あるときは可成浅く灌水すること
- (一一) 乾燥調製を良好ならしむること

紫雲英

- (一) 平坦部には晩生種山間部には中生種を用ふる事
- (二) 採種圃を設け優良種子自給の方法を立つること
- (三) 灌水選を行ひ苗核病を豫防すること
- (四) 田地の排水を良好ならしめ可成輪作すること
- (五) 稻の早中晩種に應じ播種期を定むること
- (六) 播種量は一反歩三升を標準とすること
- (七) 磷酸加里石灰等土性に應じ合理的に多用する事
- (八) 冬期排水防寒等時期を逸せざるやう注意する事
- (九) 春期乾燥其の度を超ゆるときは時々灌水する事
- (一〇) 花満開の時を見て收穫すること

馬鈴薯

- (一) 早生種を選擇すること
- (二) 採種圃を設け優良種子自給の方法を立つること
- (三) 三月中下旬の頃下種し季節を逸せざるやう注意すること
- (四) 種薯は一箇十匁位一反歩用量四十匁及を標準とすること
- (五) 整地の方法は麥作に準ずること

- (六) 速効肥料を合理的に施用すること
- (七) 發芽後直ちに除葉一本立となし尙摘花する事
- (八) 中耕除草を懇到にし稍深く堆培すること
- (九) 病蟲害の驅除豫防に注意すること
- (一〇) 貯蔵を完全ならしむること

可決 可決

第四章 農事督勵成績

第一節 稻作

一、米作付反別及收穫高

年次	作付反別	收穫高	反當收穫高	備考
明治八年	—	三三、五五	—	早 魁
同 十三年	—	四三、二八	—	米價騰貴
同 十八年	三、七四、七	三三、七九	一、五九	豐作、米價騰貴
同 二十三年	三、六〇、二	五六、七五	一、七五	浮塵子發生
同 二十八年	三、三六、六	四七、二六	二、五二	米價稍下落
同 三十三年	三、二五、三	五六、九〇	一、六五	
同 三十八年	三、七六、一	五七、〇〇	一、五三	
同 四十三年	三、三六、四	六六、六六	一、八五	

郡名	年次	三、稻採種圃				
		計	糯	其他	嘉十	若ノ浦
郡名	八年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年
	七年	二五、一〇	八、五〇	五、六〇		
	六年	二四、八五	八、四七	五、八六		
	五年	二一、五〇	八、〇〇	五、五九		
	四年	四、一四七、六五	四、〇〇〇、〇〇	六、四〇〇、〇〇		
	三年	四、一四七、六五	四、〇〇〇、〇〇	六、四〇〇、〇〇		
	二年	四、一四七、六五	四、〇〇〇、〇〇	六、四〇〇、〇〇		
	一年	四、一四七、六五	四、〇〇〇、〇〇	六、四〇〇、〇〇		
	共	二五、一〇	八、五〇	五、六〇		
	同	二四、八五	八、四七	五、八六		

神	新但馬	赤一本	幸助	早大關	奥州
八年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年
七年	一〇、七〇			〇、〇〇	二、七〇
六年	一〇、七〇			〇、〇〇	二、七〇
五年	一〇、七〇			〇、〇〇	二、七〇
四年	一〇、七〇			〇、〇〇	二、七〇
三年	一〇、七〇			〇、〇〇	二、七〇
二年	一〇、七〇			〇、〇〇	二、七〇
一年	一〇、七〇			〇、〇〇	二、七〇
共	一〇、七〇			〇、〇〇	二、七〇
同	一〇、七〇			〇、〇〇	二、七〇

岩美
—大正七年度—
—大正八年度—
一七三俵

七、酒造米共同販賣

計	日野	西伯	東伯	氣高	年度			
					八	七	六	五
三,五〇八,六〇〇	三,三九八,九〇〇	三,三七八,一〇〇	三,三七八,一〇〇	三,三七八,一〇〇	八	七	六	五
三,三〇八,〇〇〇	三,二〇八,〇〇〇	三,二〇八,〇〇〇	三,二〇八,〇〇〇	三,二〇八,〇〇〇	八	七	六	五
三,一〇八,〇〇〇	三,〇〇八,〇〇〇	三,〇〇八,〇〇〇	三,〇〇八,〇〇〇	三,〇〇八,〇〇〇	八	七	六	五
二,九〇八,〇〇〇	二,八〇八,〇〇〇	二,八〇八,〇〇〇	二,八〇八,〇〇〇	二,八〇八,〇〇〇	八	七	六	五
二,七〇八,〇〇〇	二,六〇八,〇〇〇	二,六〇八,〇〇〇	二,六〇八,〇〇〇	二,六〇八,〇〇〇	八	七	六	五
二,五〇八,〇〇〇	二,四〇八,〇〇〇	二,四〇八,〇〇〇	二,四〇八,〇〇〇	二,四〇八,〇〇〇	八	七	六	五
二,三〇八,〇〇〇	二,二〇八,〇〇〇	二,二〇八,〇〇〇	二,二〇八,〇〇〇	二,二〇八,〇〇〇	八	七	六	五
二,一〇八,〇〇〇	二,〇〇八,〇〇〇	二,〇〇八,〇〇〇	二,〇〇八,〇〇〇	二,〇〇八,〇〇〇	八	七	六	五
一九〇八,〇〇〇	一,八〇八,〇〇〇	一,八〇八,〇〇〇	一,八〇八,〇〇〇	一,八〇八,〇〇〇	八	七	六	五
一,七〇八,〇〇〇	一,六〇八,〇〇〇	一,六〇八,〇〇〇	一,六〇八,〇〇〇	一,六〇八,〇〇〇	八	七	六	五
一,五〇八,〇〇〇	一,四〇八,〇〇〇	一,四〇八,〇〇〇	一,四〇八,〇〇〇	一,四〇八,〇〇〇	八	七	六	五
一,三〇八,〇〇〇	一,二〇八,〇〇〇	一,二〇八,〇〇〇	一,二〇八,〇〇〇	一,二〇八,〇〇〇	八	七	六	五
一一〇八,〇〇〇	一,〇〇八,〇〇〇	一,〇〇八,〇〇〇	一,〇〇八,〇〇〇	一,〇〇八,〇〇〇	八	七	六	五

六、稻架

八頭	岩美	鳥取	郡市名	年度			
				八	七	六	五
四,七〇〇,〇〇〇	四,七〇〇,〇〇〇	四,七〇〇,〇〇〇	次	八	七	六	五
四,六〇〇,〇〇〇	四,六〇〇,〇〇〇	四,六〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
四,五〇〇,〇〇〇	四,五〇〇,〇〇〇	四,五〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
四,四〇〇,〇〇〇	四,四〇〇,〇〇〇	四,四〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
四,三〇〇,〇〇〇	四,三〇〇,〇〇〇	四,三〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
四,二〇〇,〇〇〇	四,二〇〇,〇〇〇	四,二〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
四,一〇〇,〇〇〇	四,一〇〇,〇〇〇	四,一〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
四,〇〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	四,〇〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
三,九〇〇,〇〇〇	三,九〇〇,〇〇〇	三,九〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
三,八〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	三,八〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
三,七〇〇,〇〇〇	三,七〇〇,〇〇〇	三,七〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
三,六〇〇,〇〇〇	三,六〇〇,〇〇〇	三,六〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
三,五〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
三,四〇〇,〇〇〇	三,四〇〇,〇〇〇	三,四〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
三,三〇〇,〇〇〇	三,三〇〇,〇〇〇	三,三〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
三,二〇〇,〇〇〇	三,二〇〇,〇〇〇	三,二〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
三,一〇〇,〇〇〇	三,一〇〇,〇〇〇	三,一〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
二,九〇〇,〇〇〇	二,九〇〇,〇〇〇	二,九〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
二,八〇〇,〇〇〇	二,八〇〇,〇〇〇	二,八〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
二,七〇〇,〇〇〇	二,七〇〇,〇〇〇	二,七〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
二,六〇〇,〇〇〇	二,六〇〇,〇〇〇	二,六〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
二,五〇〇,〇〇〇	二,五〇〇,〇〇〇	二,五〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
二,四〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇	二,四〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
二,三〇〇,〇〇〇	二,三〇〇,〇〇〇	二,三〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
二,二〇〇,〇〇〇	二,二〇〇,〇〇〇	二,二〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
二,一〇〇,〇〇〇	二,一〇〇,〇〇〇	二,一〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五
二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇	年	八	七	六	五

八頭	四〇	二五〇
氣高	二〇	一
東伯	一	七〇
西伯	五	一五〇
計	一四四	一七四

第二節 害 蟲 驅 除

一、大正四年度

二化螟虫の發生は例年に比し約一週間を後れたるもの、如く、六月上旬にありては各地蛾の飛翔するもの甚だ稀なりしも、六月中旬に至り漸く多く、殊に六月二十日頃よりして著しく増加せり、時恰も植附の最盛期なりしを以て、苗代末期の驅除並に本田採卵等其の督勵に努めたるも、勢ひ苗に附着せる卵塊の移轉を免る能はず、加之植附後尙は盛に産卵せるがため、遂に本田に於て幼虫の蝕害猛烈を極め、殊に平坦部に於ては株絶となりたるもの多く、近年目撃し得べからざる慘害を來すに至れり。

然りと雖も本年は春來氣候適良なるも、流葉心枯等の摘除に努め、且つ第二期驅除に就きては特に意を用ひ、八月二十日頃より葉鞘變色莖の刈取を行ひ、土用機大に見直し秋收の佳なるべき見込なりしも、九月八日に至り未曾有の暴風襲來、中晩種と殆んど七八割の白穂と變じ慘害激甚なりしがため、遂に螟蟲被害の程度を詳にする能はざりき。

浮塵子類は七月二十日頃より平坦部に發生せるものあるも、其害甚しからず、殊に數度の驟雨により自然驅除の効あり、又隨時注油驅除をなしたるにより被害の認むべきものなかりし。

椿象(稻椿象)は氣高郡の一部早稻栽培地に發生し、泥負蟲亦山間地方一部に發生せるも、共に分布區域廣からず又稻熱病葉枯病等各地散見せざるに非るも、これ亦特筆すべき被害を認めざりき。

貯藏穀虫は穀象最も多く、大穀盜及穀蛾等これに亞げり、而して前年來米價低落のため貯藏多かりしを以て、勢ひ害虫の發生亦多かりしも、七月五日よりこれが驅除に着手し、普く縣下に及ぼしたるを以て、著しき蝕害を見ざりき。

豫防督勵に關する委員は、委員長(内務部長)副委員長(農商課長)各一名、委員九十七名にして、内務部員七名、縣農會職員一名、米穀検査員二十九名、郡在勤農業技手二十二名、郡市書記四十一名、郡吏員二名、郡農會職員三名、警察部員二十四名なり。

委員は督勵開始前豫め郡市別に協議會を開き、各地の實情により町村の驅除日を定め、これを當業者に周知せしめ、當日委員は勿論、町村駐在巡查、町村吏員及町村農會職員等出勤して、當業者を督勵し、一面前年來模範驅除地として設置せる害蟲驅除豫防勵行區の數を増加し、縣下八十一ヶ所とをなし、一層これが督勵を加へたり、驅除の方法は苗代期の採卵、捕蛾、注油、植付後の採卵、第二期葉鞘變色莖刈取等とす。

二、大正五年度

二化螟蟲の發生は其數に於て敢て前年に譲らざりしも、一般に發蛾期一週日許早く、播秧後發生せるもの僅少にして、本田初期に於ける被害は極めて輕少なりき、これ播秧後降雨多く敵蟲の蝕害夥だしき傾向ありしがためなるべしと雖も、苗代期の驅除周到なりしによるべし、第二期の發生は比較的多かりしも、これ亦葉鞘變色莖の刈取を勵行せるため被害の大なるを認先す。

浮塵子類の害は平坦部に於て多少これを認めたるも、特筆すべき程度に達せず、然りと雖も氣高郡の一部に發生せる稻椿象は益暴威を逞ふし、收量と米質とに影響するところ大なりき。

桑の螟蛾は蠶の糞詰病と關係あり、螟蛾は縣下各地に發生せ、就中西伯郡弓濱部に於て發生甚しきを以て、本年度より同地に於て螟蛾の驅除を督勵することとせり。

本年度豫防督勵規程を改正し、委員長(郡市長)を新設す、委員は委員長(内務部長)副委員長(農商課長)各一名

委員部長七名、委員百八名、内務部員七名、縣農會職員一名、米穀検査職員二十九名、郡在勤農業技手二十三名、郡市書記十四名、郡市吏員四名、郡農會職員二名、警察部員二十四名、蠶業取締吏員四名なり。
委員の督勵に關する順序方法は前年に異なるところなれども、桑の螟蛾は六月下旬と七月下旬との二回に驅除を勵行し、尙ほ秋期に至り凋落せる桑葉を蒐集し、これを燒棄又は地中に埋沒せしめたり。
本年螟蟲驅除の新施設として持廻り誘蛾燈の使用、第一期蝕入莖の株刈、浸水驅除法等を試みたるに、皆相當驅除の効果を收めたり。

三、大正六年度

本年は氣候冷涼にして苗の發育不良、二化螟蛾の發生は例年に比し十有餘日を後れたるも、平坦部に於ては六月二十七八日の頃發蛾最も盛にして、本田に於て産卵するもの最も多く、東伯郡上北條村に於ては一反歩卵塊一萬餘を採集したるものさへあり、爲にこれ等地方播種後の蝕害激甚にして、被害大正四年に譲らざる地方多かりし、浮塵子其他の害蟲は殆んど數ふるに足らず、獨り例年氣高郡の一部に發生する稻椿象は相當發生の徴あり、且つ漸次分布して隣接東伯郡及岩美郡に傳播せんとし、尙ほ氣高郡瑞穂村大字日光に於て黒椿象の集團發生せるを發見せるを以て、本年度は大舉して一齊驅除に従事せしめ多大の効果を收めたり。
害蟲驅除豫防委員の編成は前年と大差なれども、本年度新に巡查百六十六名を委員に任命し總計二百九十二名となれり。これ等委員は各部署を定め、豫め定たる驅除の方法に基き、一齊に督勵せり。
驅除の方法は前年と大同小異なるも、各地農事改良組合の設立漸く多く、これ等組合は害蟲驅除を以て必行事項の一とせざるを以て、從來設置せる害蟲驅除勵行區の必要を認めざるに至りたるを以て、本年度に於てはこれを廢し、新に害蟲驅除の成績顯著にして他の模範となるべき團體、小學校兒童個人を表彰せんがため、害蟲驅除豫防に關する行賞内規を定め、該當者を表彰することとせり。
椿象驅除に對しては適切なる方法なきも、潜伏所は多く附近山野拾ヒカガキの株際に最も多きを發見したるを以て潜伏所を尋ねて捕殺し、尙ほ産卵期前日没より早朝迄の間に於て捕蟲網又は赤手を以て捕殺せしめ、且つ可成早稻の

作付を減少すると同時に、早稻栽培を集團し、これに向つて共同的に驅除を行はしむることとせしが、早きは既に七月十五六日頃に至り一株に對し一二頭の成蟲寄生せるを目撃せるを以て、八月一日より凡そ三日毎に數回驅除せしめたり、八月十九日調査するところによれば椿象は大に減少し、最早一齊驅除の要なきを認めたり、本年捕獲せる成蟲の數量は、此地方を通じ三十六石一斗八升六合(一升の蟲數約七千頭)に達せり。

第二節 害蟲驅除

大正七年度

苗代初期に於ける氣候強暖ありしため、二化螟蟲に前年に比し發蛾數日早かりしも、六月上旬以後天候不順降雨多く、麥紫雲英等の收穫遅れたるため、發生したる螟蛾も一時これに潜伏せるもの多く、此等前作物の刈取と共に俄かに苗代若くは本田に襲來し、一時其の發生夥しと觀を呈せり、茲に於て委員を派し驅除を督勵したりしが、早植のものを除くの外本田初期の被害は輕少なりき、第二化期に於ける發生は例年と異らされども、時恰も米價暴騰し生産増加の急を訴ふる際なりしを以て、葉鞘變色莖の刈取を實行せしめ、一般に被害輕少なりき。
浮塵子の發生は苗代期横這類を散見するの外一般に尠く、稻椿象亦前年の驅除周到ありしがため殆んど被害を認めず、其他苞蟲の發生は例年に比し稍多かりしも、泥負蟲の害も亦輕微なりき。
病害には葉枯病、稻熱病等一部に發生せしも被害大ならず、獨り萎縮病は西伯郡の一部に發生し、漸次蔓延せんとし警戒せり。

豫防督勵に従事せしは委員長、副委員長、委員部長の外委員には内務部員六名、縣農會職員一名、穀物検査所員三十名、農事試験場員四名、郡市在勤農業技手二十四名、郡市書記十五名、郡市吏員二名、警察部員四名、警察署員四十名、町村駐在巡查百七十八名に對し任命又は囑託し、督勵の方法は例年と異なるところなかりしも、本年度始めて豫察燈を各郡市樞要の地區に配置し、發蛾最盛期を報告せしめ、驅除の適期を逸せざるに便せり。

本年度害蟲驅除豫防に關する行賞内規により、其の成績顯著なる農事改良組合、共同苗代組合、害蟲驅除豫防組合、青年團等二十五組合に對し各金五圓、小學校及實業補習學校二十五校に對し各金參圓宛を交付し、其他町村町村農會又は部落の成績優良なるもの十一、成績顯著にして他の模範とすに足ると認むるもの十九名を表彰せり。

大正八年 年度

本年度二化螟蟲は前年に比し發生早く、山間部早植の田地に於て被害莖を認むる奇現象を呈したるも、一般に被害輕少にして、第二化期に於けるも亦同様なりき、蓋し本年の收穫高は本縣米作史の記録を破り増收を來したる所以のものは、其の因て來るところ一ならずと雖も、被害輕少従つて稻の倒伏せるもの殆んどこれなく、無難に生育したるに主因せずんばならず。

以上の如くなるを以て螟蟲以外各種の病害蟲亦至つて稀少なりき、只西伯郡に於ける萎縮病は、益蔓延して箕敷屋、法勝寺、小松谷等殆んど全部に亘れるを遺憾とするのみ、同郡萎縮病は一坪中二三株と出現し、又健全なる稻株に介在するもの尠からず、被害輕少ならず、今後一層これが防除に努力せざるべからず。

豫防督勵の方法は前年と大差なく、豫察燈の設置亦前年に同し、本年度行賞内規により行賞せるは農事改良組合害蟲驅除豫防組合、青年團等に屬するもの二十五、學校に屬するもの二十五、村又は村農會に屬するもの四、個人十三なりき。

第三節 麥 作

一、麥作付反別收穫高

年次	作付反別收穫高	反當收穫高	備考
明治十八年	一四、九四九、〇	九四、五五五	六三三
同二十三年	一八、七三九、九	一三、四八六	六九一

年次	作付反別收穫高	反當收穫高
同二十八年	一七、〇九〇	一六〇、三四三
同三十三年	一八、八七二、七	一九七、五二一
同三十八年	一七、九六五、八	一七、八一六
同四十三年	一六、三〇六、六	一七四、三三二
大正元年	一六、〇七七、九	一九八、九九六
同二年	一五、六七三、五	二〇五、九三五
同三年	一五、四〇五、二	一七二、三四六
同四年	一五、一六七、四	一九一、九五四
同五年	一四、五〇〇、四	一八〇、三四七
同六年	一三、八五〇、六	一七〇、八七一
同七年	一二、四〇一、八	一三五、九五
同八年	一一、四七、四	一五〇、二九〇

二、麥品種作付反別

田地栽培大麥ノ部

品種	年次	鳥取	岩美	八頭	氣高	東伯	西伯	日野	計
瑞穂	四年	一一一	二二〇、九〇〇	一一二、七七〇	五五、一四〇	八、〇〇〇	三六、九〇〇	九、五〇〇	九二、五〇〇
	三年	一一一	二二〇、四〇〇	一一九、七〇〇	六六、六五〇	一〇、〇〇〇	三六、二〇〇	一四、二〇〇	一〇、六七〇
	二年	一一一	三〇〇、八六〇	一三〇、八〇〇	六五、八四〇	一〇、〇〇〇	二七、八〇〇	一一、三〇〇	一、二六、三〇〇
	一年	一七〇	二五二、二四〇	一三六、九〇〇	七〇、九三〇	九、五〇〇	二七、八四〇	一一、三〇〇	一、四六、三〇〇
	八年	一、〇七〇	二〇八、一六〇	一四三、九〇〇	六四、五八〇	一四、〇九二	二六、五四五	一一、一〇〇	一、四〇、五八〇

計	其他	坊主麥	關取	白麥	早木曆
八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年
五、七、四〇					
三、三、六、八、六	六、二、三、八、六、六		一、一、六〇		
一、一、五、四、七、四〇	一、一、四、八、四、〇				
一、一、三、六、七、〇	一、一、四、五、〇、〇				
二、二、三、七、四、〇	二、二、三、九、〇、〇		五、三、二、七	一、一、九、五、〇	二、二、三、〇、〇
一、一、六、七、二、〇	一、一、〇、九、〇、〇		一、六、九、八、八、〇		
四、四、三、〇、〇	八、〇、〇、〇				
八、八、九、〇、〇	一、一、七、四、〇、〇				

四一

早麥	早生六角	矢筭	地藏講	長穗	在來六角
八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年
					三、五、八〇
				二、五、六、四〇	一、一、九、〇、〇
	一、五、五、〇	三、三、〇、〇	三、二、〇、〇	七、九、〇、〇	二、八、三、六〇
	六、九、九、〇	六、〇、〇、〇	六、〇、〇、〇	六、八、八、〇	二、九、三、六〇
	七、九、九、〇	七、〇、〇、〇	七、〇、〇、〇	七、八、八、〇	二、八、六、〇
	七、四、九、〇	七、四、〇、〇	七、四、〇、〇	七、四、〇、〇	二、八、〇、〇
	六、九、九、〇	六、九、〇、〇	六、九、〇、〇	六、九、〇、〇	二、七、四、〇
	六、四、九、〇	六、四、〇、〇	六、四、〇、〇	六、四、〇、〇	二、六、八、〇
	五、九、九、〇	五、九、〇、〇	五、九、〇、〇	五、九、〇、〇	二、六、二、〇
	五、四、九、〇	五、四、〇、〇	五、四、〇、〇	五、四、〇、〇	二、五、六、〇
	四、九、九、〇	四、九、〇、〇	四、九、〇、〇	四、九、〇、〇	二、五、〇、〇
	四、四、九、〇	四、四、〇、〇	四、四、〇、〇	四、四、〇、〇	二、四、四、〇
	三、九、九、〇	三、九、〇、〇	三、九、〇、〇	三、九、〇、〇	二、三、八、〇
	三、四、九、〇	三、四、〇、〇	三、四、〇、〇	三、四、〇、〇	二、三、二、〇
	二、九、九、〇	二、九、〇、〇	二、九、〇、〇	二、九、〇、〇	二、二、六、〇
	二、四、九、〇	二、四、〇、〇	二、四、〇、〇	二、四、〇、〇	二、二、〇、〇
	一、九、九、〇	一、九、〇、〇	一、九、〇、〇	一、九、〇、〇	二、一、四、〇
	一、四、九、〇	一、四、〇、〇	一、四、〇、〇	一、四、〇、〇	二、〇、八、〇
	〇、九、九、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	二、〇、二、〇
	〇、四、九、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	一、九、六、〇
	〇、九、九、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	一、九、〇、〇
	〇、四、九、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	一、八、四、〇
	〇、九、九、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	一、七、八、〇
	〇、四、九、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	一、七、二、〇
	〇、九、九、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	一、六、六、〇
	〇、四、九、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	一、六、〇、〇
	〇、九、九、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	一、五、四、〇
	〇、四、九、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	一、四、八、〇
	〇、九、九、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	一、四、二、〇
	〇、四、九、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	一、三、六、〇
	〇、九、九、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	一、三、〇、〇
	〇、四、九、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	一、二、四、〇
	〇、九、九、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	一、一、八、〇
	〇、四、九、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	一、一、二、〇
	〇、九、九、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	〇、九、〇、〇	一、〇、六、〇
	〇、四、九、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	〇、四、〇、〇	一、〇、〇、〇

四〇

坊主麥	關取	白麥	早木層	早麥	早生六角
八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年
					三二〇 三四〇 四〇〇
					八三〇 八三〇 八三〇 八三〇 八三〇
		二二〇 二二〇 二二〇 二二〇 二二〇	二二〇 二二〇 二二〇 二二〇 二二〇	〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇	
	五〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇				
八六八八 九〇九〇					三二〇 二二〇 二二〇 二二〇 二二〇
八六八八 九〇九〇	五〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇	二二〇 二二〇 二二〇 二二〇 二二〇	二二〇 二二〇 二二〇 二二〇 二二〇	〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇	二二〇 二二〇 二二〇 二二〇 二二〇

四三

矢筈	地藏講	長穗	在來六角	瑞穗	品種
八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	年次
					鳥
					取
			三二七 三二七 三二七 三二七 三二七	三二七 三二七 三二七 三二七 三二七	岩
一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇 一〇〇〇	六九七 六九七 六九七 六九七 六九七	九〇八 九〇八 九〇八 九〇八 九〇八	一一一 一一一 一一一 一一一 一一一	一一一 一一一 一一一 一一一 一一一	美
		四三〇 四三〇 四三〇 四三〇 四三〇	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	八
		四三〇 四三〇 四三〇 四三〇 四三〇	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	頭
		四三〇 四三〇 四三〇 四三〇 四三〇	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	氣
		四三〇 四三〇 四三〇 四三〇 四三〇	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	高
		四三〇 四三〇 四三〇 四三〇 四三〇	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	東
		四三〇 四三〇 四三〇 四三〇 四三〇	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	伯
	三三九 三三九 三三九 三三九 三三九	三三九 三三九 三三九 三三九 三三九	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	西
	三三九 三三九 三三九 三三九 三三九	三三九 三三九 三三九 三三九 三三九	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	伯
		三三九 三三九 三三九 三三九 三三九	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	日
		三三九 三三九 三三九 三三九 三三九	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	野
		三三九 三三九 三三九 三三九 三三九	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	二二二 二二二 二二二 二二二 二二二	計

畑地栽培大麥ノ部

四二

在來種	黒裸	白裸	大澤	外江	コヒンカタギ
八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年
			0,0	0,0	三三三三 三三三三 三三三三
	二二五五三 〇〇六七三〇	〇〇〇一四 六五九〇〇	二二二二 二五七五〇		二〇〇〇〇 五四三三二
					一五九二一八 九五八八四
	0,0			0,0	四三三三三 四九二二二 四〇九一〇
		一〇九 一四三六〇	一六六六八 六四〇五〇	八六六一 八二二〇	七六六六 七四七〇
					六六一一 七〇三〇
	二二五五三 〇〇六七三〇	〇〇〇一四 六五九〇〇	二二二二 二五七五〇		一四九二一 二二二二 二二二二

小種	品種	計	其他	青麥	關取
八七六五四年 年年年年	年次	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年
	鳥取	一四一五 四〇九〇	一三二五 二〇〇〇		
一六二二 六〇〇〇	美八頭	四三三三 三九七九	一〇一五 四〇〇〇		
一三〇〇 五〇〇〇	氣高東	四四四四 四六八三	七七一四 七三〇〇		
一四一〇 三〇〇〇	西伯	二二二二 二八〇〇	二二二二 二二二二		
五三〇〇 六〇〇〇	日野	二二二二 二六八五	九四四四 四四七五		
三〇〇〇 〇〇〇〇	計	一八二二 〇〇〇〇	五五五五 八二二〇		
一五七三 二〇〇〇		一八二二 〇〇〇〇	八五五五 二二二二		一六〇〇

畑地栽培裸麥ノ部

品種	大粒系	オレゴン系	寒田小麥	在來有芒種	在來無芒種
年次	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年
鳥取					
岩美					
八頭					
氣高					
東伯					
西伯					
日野					
計	五、五、五、六、〇	二、一、一、五、〇	〇、〇、〇、〇、二	一、一、三、五、九	七、九、〇、三、六

田地栽培小麥ノ部

計	其他	青麥	關取	鬼稗	五寸五俵
八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年
二、九、〇、〇	二、七、七、七				
一、七、三、〇	二、二、二、二				
三、〇、六、〇	八、七、八、〇				
三、七、三、〇	二、一、二、〇		〇、二	七、七、六、六	四、八、九、九
六、五、〇、〇	〇、九、九、〇			二、五、八、二	〇、〇、〇、〇
六、四、三、〇	〇、五、五、七			〇、〇、〇、〇	〇、〇、〇、〇
七、九、八、〇	〇、一、九、〇				
六、四、七、〇	五、四、四、五				
七、六、八、〇	五、二、四、二				
七、九、八、〇	五、二、三、九				
一、五、〇、〇	一、一、三、五				
九、六、〇、〇	五、四、〇、〇		〇、二	七、七、六、六	四、八、九、九

白有芒	赤有芒	在來無芒種	在來有芒種	島田小麥	オレオン系
八七六五四 年年年年	八七六五四 年年年年	八七六五四 年年年年	八七六五四 年年年年	八七六五四 年年年年	八七六五四 年年年年
					二七七八〇
		六七三〇 七七八〇 二六七八〇	三四三〇 四四三〇 二六七八〇		
一四六〇 一八五〇 一六五〇 一五〇〇	三四〇〇 四一〇〇 三九〇〇 三九〇〇				
一四六〇 一八五〇 一六五〇 一五〇〇	三四〇〇 四一〇〇 三九〇〇 三九〇〇	六七三〇 七七八〇 二六七八〇	三四三〇 四四三〇 二六七八〇		二七七八〇

大粒系	品種	計	其他	ホーシ	在來種
八七六五四 年年年年	年次	八七六五四 年年年年	八七六五四 年年年年	八七六五四 年年年年	八七六五四 年年年年
	鳥取	〇、〇、 四〇、 二五			〇、 二〇
一七、 一七、 一七、 一五、 七五	岩美	一七、 一八、 二四、 二五、 九五	一七、 一六、 一六、 〇〇		一〇、 一三、 三〇
	八頭	三五、 三六、 三八、 一六、 三五	一六、 一四、 一三、 一三、 二〇		
	氣高	四八、 六二、 六二、 五〇、 三〇			
	東伯	一〇、 九六、 九七、 八六、 八八、 三〇	一三、 一四、 一三、 一三、 一六、 六〇	一〇、 一五、 八五	
	西伯	一八、 一七、 一六、 一五、 一三、 三〇	一八、 一六、 一〇、 一〇、 八七、 九〇		
	日野	四四、 四四、 四四、 四四、 四四、 九〇	一三、 一六		
一七、 一七、 一七、 一五、 七五	計	四四、 四四、 四四、 四四、 四四、 八八	一五、 一八、 一八、 一八、 一八、 三三	一〇、 一五、 八五	一〇、 一三、 三〇

畑地栽培小麥ノ部

第四節 肥料消費高

計	日野			
	西伯	東伯	氣高	計
八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年
四三二一〇	元六九	二六七	二七	六五
七五三六	一〇	一〇	一〇	一〇
六八四	一〇	一〇	一〇	一〇
五九	一〇	一〇	一〇	一〇
四〇	一〇	一〇	一〇	一〇
三二	一〇	一〇	一〇	一〇
二五	一〇	一〇	一〇	一〇
一六	一〇	一〇	一〇	一〇
〇九	一〇	一〇	一〇	一〇
〇一	一〇	一〇	一〇	一〇

三、麥採種圃

八頭	岩美	鳥取	郡市名	年次	
				八	七
八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	年次	八	七
二二五	六三	四	共同	一	一
一五	三	〇	反經	一	一
三〇	六	〇	管別	一	一
二五	二	〇	管個	一	一
一五	一	〇	所人	一	一
一〇	〇	〇	反經	一	一
〇五	〇	〇	管別	一	一
〇〇	〇	〇	管計	一	一
〇〇	〇	〇	反	一	一
〇〇	〇	〇	管別	一	一

計	其他			
	八	七	六	五
八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年	八七六五四年
一	一	一	一	一
二	二	二	二	二
三	三	三	三	三
四	四	四	四	四
五	五	五	五	五
六	六	六	六	六
七	七	七	七	七
八	八	八	八	八
九	九	九	九	九
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

年次	肥料別	數量ノ部							合計	
		過燐酸	硫酸アンモニア	他ノ肥料	調合肥料	大豆粕	油粕類	他ノ植物		
昭三十五年		三、五四〇	四、三五六	1	二九、五二二	三二、七三四	一五、三三八	八、八八四	五〇、九〇五	六二、二〇二
同三十六年		三、二三八	四、六六四	1	三二、〇一六	二五、八五九	一五、三二七	四七、七三三	五七、〇七七	七四、三三八
同三十七年		一、九七七	六、〇八〇	1	二六、五四四	一三、五五〇	一五、七〇二	四〇、六七八	四六、七九八	三九、九〇五
同三十八年		一、五、九〇〇	一、六、〇〇九	1	二〇〇、八九二	三九九、二二三	二四、一六一	一〇一、四〇七	二九七、三六六	九三、〇七六
同三十九年		一、五、九〇〇	三、九、一六一	1	二九、四三三	四〇九、六三三	一〇六、五三三	二九、六九三	二五九、八四九	一、四七七、二九四
同四十年		二、四、五八三	五、二、二九九	1	三四〇、四四〇	二五、九四五	一〇二、六八九	三八、〇二五	二五九、八四九	一、三八七、八三三
同四十一年		三、九、一八三	七、五、二九九	1	五三、一一八	八三、一三〇	八四、七四七	六四、七五四	二〇一、〇六六	九五、七九二
同四十二年		四、〇、〇七六	七、七、九七九	1	四〇、七五二	二九、二九九	九五、六七七	八八、四〇〇	二〇一、〇六六	八七、六七三
同四十三年		五、〇、六六九	六、一、八一	1	四四、二七五	八四、六八〇	一一九、七三三	二八一、〇六三	二七、六三三	九二、六八九
同四十四年		七、七、六〇五	一〇、六、七七七	1	四九、二七二	二二、七五三	一一三、四五九	二四〇、一六一	三三〇、六六九	八七、五八一
同四十五年		不詳	不詳	1	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳
大正元年		九、四、六五二	一、七、六、三三	1	三、六二二	一〇、四一七	二二、六七五	七、五九二	四七、〇七三	一〇三、七四一
同二年		一、二、六、三三	二、三、三二	1	九四、六三七	一、二、五五八	二七、二二	五四、三八三	七三、七六	一六、七七六
同三年		六、六、九九〇	一、三、三三八	1	三九〇、三八〇	二、四、七七〇	八八、五五	一六八、〇八九	五九、四一〇	三五、五五一
同四年		八、四、九一六	四、六、一八〇	1	二八七、二四五	五〇、三八九	一八、三三〇	一七、四二〇	七三、九三三	一六五、七八
同五年		一、三、〇、七九	三、三、九三三	1	五四〇、三九二	二、六、八五五	二五、五九九	一八九、四四四	四四〇、〇七六	二五三、八〇〇
同六年		八、四、九五八	四、三、四四四	1	七三、九六四	七、三八〇	二六、八四五	一七五、九二九	四三、〇八四	二八七、〇三二
同七年		一、四、七、〇一五	二、六、七、九二	1	一八、八七六	三、七、八三七	六〇、八九五	一七、六五八	四九、二五五	二八、八九七
同八年		不詳	不詳	1	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳

價格ノ部 (單位圓)

年次	肥料別	價格ノ部							合計	
		過燐酸	硫酸アンモニア	他ノ肥料	調合肥料	大豆粕	油粕類	他ノ植物		
昭三十五年		五、二三三	二、九二二	1	八、八四三	五、一四六	二五、一四〇	八、六六四	一六、六一八	一三、八九
同三十六年		一、三、六一七	三、一八六	1	三、二五〇	五、三九一	二六、〇三九	五、五八八	一八、七三三	一五、九六
同三十七年		二、四、九九七	四、三三二	1	四〇、三〇九	三、一九九	二、七三三	二、二四九	一六、四六一	一〇、四四三
同三十八年		五、四、四七	一、四、四二	1	四三、四三〇	九、三三三	二、一〇一	一九、二四	一三、七三	二六、一九一
同三十九年		三、七、八四六	三、七、八四六	1	八八、一八七	一、三、九五八	二五、四七八	二、四八三	一三、七五	二六、九四一
同四十年		三、八、八四二	三、〇、八八八	1	一〇五、六三三	八、九、五七	二四、一三七	二、八六三	八九、三七五	二四、五七
同四十一年		五、一、六六七	四、一、六二	1	一七、六八八	一、七、八二五	一九、四六六	五、九四三	八九、八七一	三四、六七八
同四十二年		六、四、七七	三、四、八三	1	一八、六六七	二、三、三四五	二〇、七七一	七、八二五	八六、四三六	二四、六〇〇
同四十三年		七、二、九二〇	五、七、七三	1	一三、二五七	一、七、四〇六	二四、九二一	一四、二五九	八六、四三六	二四、六〇〇
同四十四年		九、〇、七一一	六、三、七三	1	一四、五七一	二、四、一九九	二四、一〇八	一四、二五九	九九、五三九	二九、七五二
大正元年		不詳	不詳	1	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳	不詳
同二年		一、二、一八二	二、一、一〇七	1	二九、七三三	三、四、一五二	四、七、三六	八、九八	三二、四八三	三、八九八
同三年		一、四、〇、二四五	一、四、五九四	1	二六、三〇七	二、九、八七六	二、六、二四	七、〇九一	三四、六六五	三、八九八
同四年		一、〇、三、八二六	七、三、六六九	1	一三、四四〇	二、三、五、八四四	一九、二七七	九、五八七	二〇、八九一	一一、六二二
同五年		一、五、九、九一	三、九、三三八	1	二〇、九二二	二、九、〇九二	四、八、八一	一三、六六五	二六、四九四	五、四九九
同六年		一、五、一、六〇二	三、三、四五六	1	一八、二、八五五	五、八、二四一	七、一、八九九	一六、九〇六	二六、五、五九九	九、八〇二
同七年		一、四、一、〇九九	六、九、八三九	1	三二、六九二	九、〇、二四一	九、一、八九	二〇、八二〇	三〇、一、四七二	一四、一、三三三
同八年		三、二、一、四六二	二、三、八七五	1	六八、八七一	九、九、一五八	一四、一、三九三	三六、九九〇	四〇、二、四九九	一四、一、五五三

郡市名	年次	二、品評會				
		計	日野	西伯	東伯	氣高
	八七六五四 年年年年年	八七六五四 年年年年年	八七六五四 年年年年年	八七六五四 年年年年年	八七六五四 年年年年年	
會數						
出品人員						
出品點數						
授賞人員						
授賞點數						

郡市名	年次	第五節 其他		
		八頭	岩美	鳥取
	八七六五四 年年年年年	八七六五四 年年年年年	八七六五四 年年年年年	八七六五四 年年年年年
回数				
講數				
聽講人員				
回数				
講數				
聽講人員				

第五節 其他
一、講習講話

郡市名	年次	未詳
同	八	七、〇八
同	七	六、〇四七
同	六	五、七九四
同	五	七、〇六
同	四	六、八六
同	三	六、八六

備考 鳥取市の町村数は農業を営める大字を示す

計
八七六五四年 年年年年
九二〇三三 九二〇三三
一六三三三 一六三三三
一六〇四五 一六〇四五
一六〇四五 一六〇四五
一四二九〇 一四二九〇

日野	西伯	東伯	氣高	八頭	岩美
八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年	八七六五四年 年年年年
八六二二三	八六二二三	八六二二三	八六二二三	八六二二三	八六二二三
八六二六八	八六二六八	八六二六八	八六二六八	八六二六八	八六二六八
八六二五五	八六二五五	八六二五五	八六二五五	八六二五五	八六二五五
八六二五五	八六二五五	八六二五五	八六二五五	八六二五五	八六二五五
八六二五五	八六二五五	八六二五五	八六二五五	八六二五五	八六二五五

1424
396

大正九年七月二十日印刷
大正九年七月二十五日發行

鳥取縣內務部

印刷者

鳥取市上魚町二十番地

矢谷仙太郎

印刷所

鳥取市上魚町二十番地

矢谷活版所

14.21
396

終